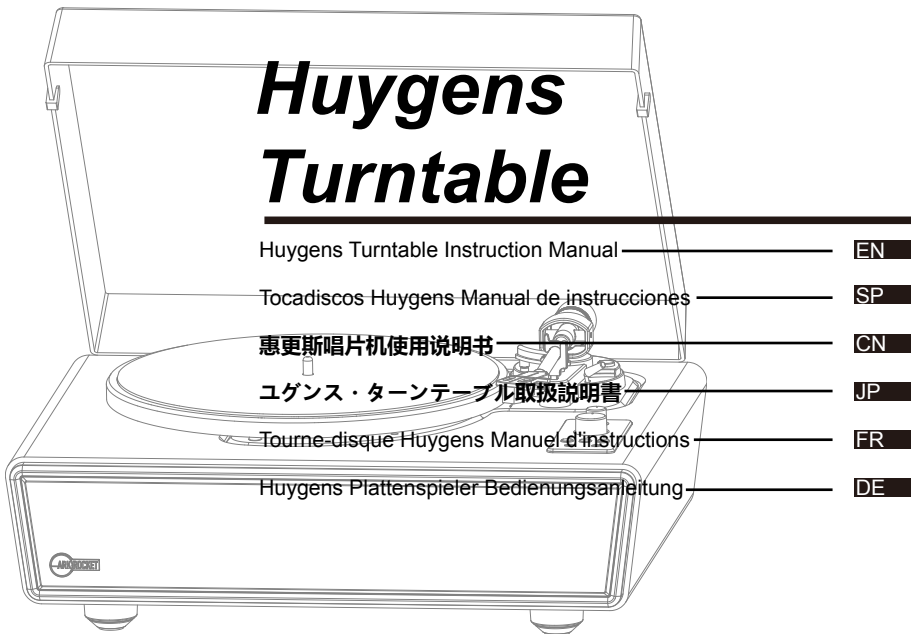




AR-PH78-DWT

www.ARKROCKET.com

ARKROCKET INC.
Atlanta, GA

1 安全上の注意事項

2 製品概要

2.1 俯瞰図

2.2 背面図

3 ターンテーブルの設置

3.1 プラッターとターンテーブルマットの取り付け

3.2 蓋の取り付け

3.3 カートリッジトラッキングフォースの調整

4 ターンテーブルの使用方法

4.1 レコードの再生

4.2 ターンテーブル操作

4.3 Bluetooth操作

4.4 Bluetooth伝送操作

4.5 AUX-IN操作

5 針の交換

JP

6 トラブルシューティング

7 技術仕様

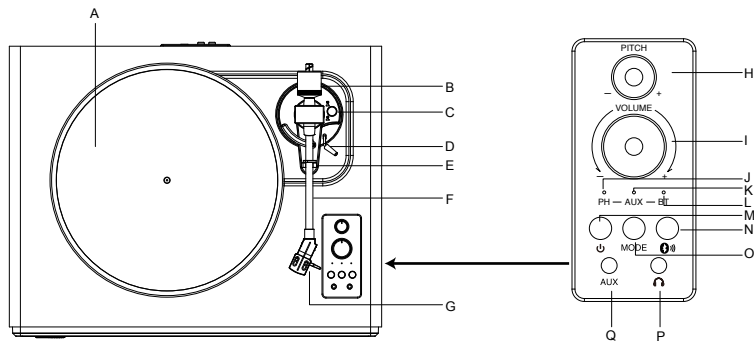
8 EC宣言

本製品を使用する前に、このマニュアルを全て読み、理解してください。将来の参照のため、この説明書を保管してください。

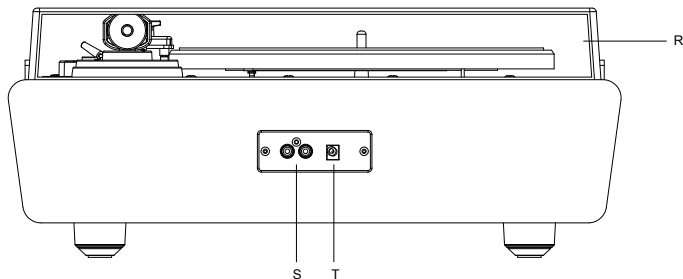
1. 感電の危険を避けるため、本製品を水辺で使用しないでください
2. 安全な操作を確保するために、本製品を使用する際は、ラベルや説明書で指定されている電源タイプのみを使用するようにしてください。
3. 偏向性プラグの安全性を危険にさらさないでください。偏向性プラグには2つのプラグがあり、一方が他方よりも幅広くなっています。電源ソケットに差し込むには1つの方法しかありませんので、無理に差し込まないでください。プラグが差し込めない場合は、プラグを反転して差し込んでみてください。それでも差し込めない場合は、適格な電気技師に相談してください。
4. 電源コードが損傷するのを防ぐため、特にプラグ、受電器、および製品から出る場所で踏んだり挟んだりしないでください。
5. 火災や感電の危険を避けるために、壁コンセント、延長コード、または一体型のコンセントを過負荷にしないでください。
6. 安全のため、この製品の開口部には何も挿入しないでください。危険な電圧ポイントに接触したり、火災や感電を引き起こす可能性のある部品がショートする可能性があります。また、製品に液体をこぼさないでください。
7. カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧レベルやその他の危険にさらされることがあるため、自分でこの製品を修理しようとししないでください。修理作業はすべて、適格なサービス担当者に依頼してください。
8. この装置に対する、準拠責任者による明示的な承認を得ていない本装置への変更や改造は、使用者の権限を無効にする可能性があります。
9. 潜在的な危険を回避するために、製品メーカーが推奨しないアタッチメントは使用しないでください。
10. 移動する際には、製品とカートの組み合わせを注意して取り扱ってください。急停止、過度の力、不均一な路面は、組み合わせが転倒する原因となる可能性があります。
11. 筐体のスロットや開口部は、製品の通気性を確保し、信頼性のある動作を保証するとともに、過熱から製品を保護するために設計されています。これらの開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
12. 雷雨の際や長時間使用しない場合は、アプライアンスの電源プラグを抜いてください。

製品概要

2.1 トップビュー



2.2 バックビュー



#	項目	説明
A	ターンテーブルブラッター	アルミニウム合金ターンテーブル
B	カウンターウェイト	針圧の調整に回転させます
C	RPM選択スイッチ	レコードタイプ（33または45）の選択に回転し、レコードプレーヤーをオフにします
D	トーンアームリフター	前に押し、後ろに引いてトーンアームを上下に動かす
E	トーンアームレストホルダー	使用しないときは、トーンアームをこのホルダーに置いてください
F	トーンアーム	レコードから音を出す針を保持する
G	唱針	針先は再生中のレコードから音を発生します
H	ピッチコントロール	速度を調整するためにコントロールを回転させます
I	音量コントロール	音量を調整するためにコントロールを回転させます

#	項目	説明
J	PHインジケーター	電話モードを選択すると、ライトが赤くなります。
K	AUXインジケーター	AUXモードを選択すると、ライトが赤くなります。
L	BTインジケーター	BTモードを選択すると、ライトが赤く点滅します。
M	電源ボタン	ユニットをオンにするには、ボタンを押します。
N	BTトランスミッター	レコードプレーヤーのモード選択ダイヤルを「Phono」に設定し、送信ボタンを長押ししてペアリングプロセスを開始します。
O	モードボタン	PH/AUX/BTを選択するには、ボタンを押します。
Q	AUX入力ジャック	外部オーディオデバイスに接続して音楽を再生します。
P	ヘッドフォンジャック	ヘッドフォンで音楽を聴きます。
R	ダストカバー	使用する前にダストカバーを取り付けてください。
S		説明書に従って、赤色ジャックに赤色コネクタを、白色ジャックに白色コネクタをマッチングし、付属のRCAケーブルをRCAアウトジャックに接続してください。
T	DC入力ジャック	DCプラグをDC IN電源ジャックに接続してください。

レコードプレーヤーの設定

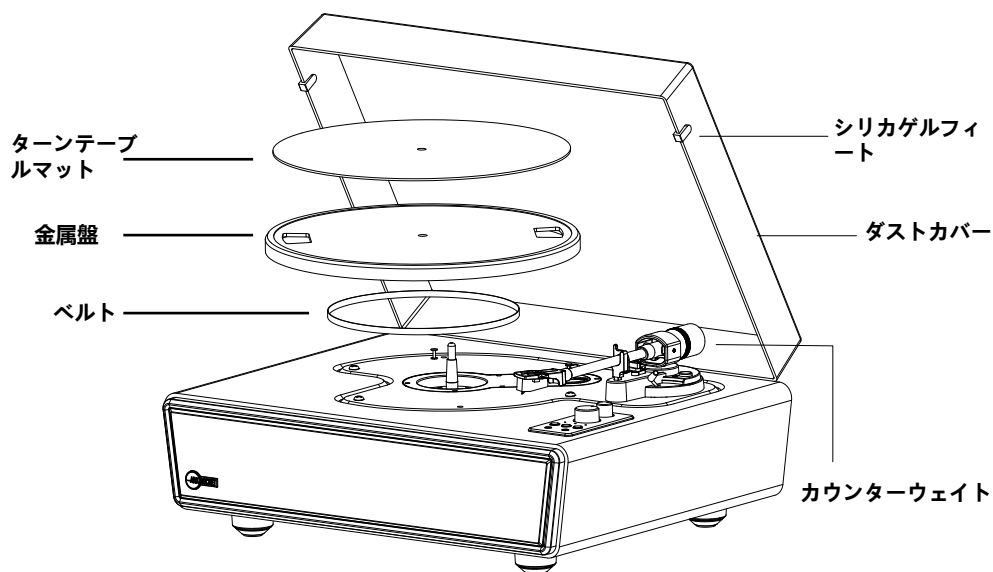
使用する前にレコードプレーヤーをインストールする必要があります。

1. アクセサリーを取り出して、アクセサリーが完全で良好な状態であることを確認してください

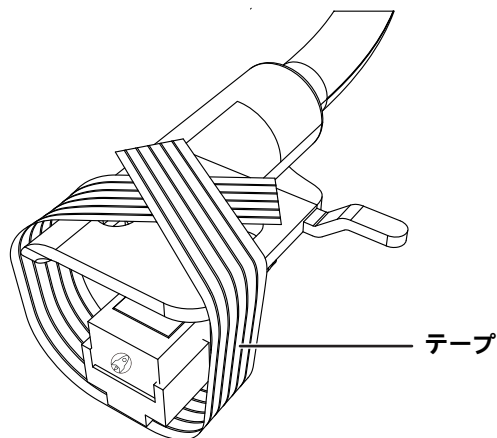
JP

#	# アクセサリー	数量
1	ライン入力ケーブル	1本
2	電源アダプター	1個
3	カウンターウェイト	1個
4	45回転アダプター	1個
5	ターンテーブルマット	1枚
6	ベルト	2本 (1本はインストール済み、1本は予備)
7	取扱説明書	1冊
8	ダストカバー	1個

2. 金属盤を取り付けます (ベルトは金属盤の下部に事前に取り付けられています) そして、金属盤にターンテーブルマットを取り付けます。墊。
3. ダストカバーを取り付ける
4. カウンターウェイトを取り付けて調整する



5. テープを注意深く取り外してください。力を入れすぎるとカバーと針を傷める恐れがあります。

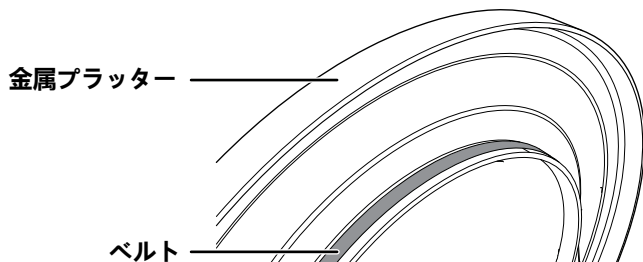


JP

3.1 プラッターとターンテーブルマットの取り付け

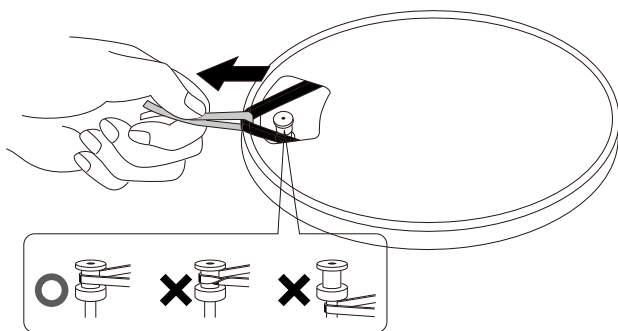
注意：ベルトは金属プラッターの下部に予め取り付けられています。

プラッターをひっくり返し、ベルトの位置を確認してください。
ドライブベルトが円の中央部分にループ状になっていることを確認してください。円の
上部または下部に位置するドライブベルトは、ドライブベルトが外れたり速度が不安定
になったりする可能性があります。

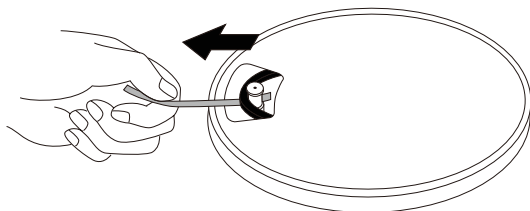


1. モータープーリーにベルトを乗せてください。

プラッターの開口部の1つをモータープーリーと合わせ、ベルトに付属する赤いリボンの両端を引きながら、図に従ってモータープーリーにベルトを取り付けます。作業中にベルトをねじらないように注意してください。

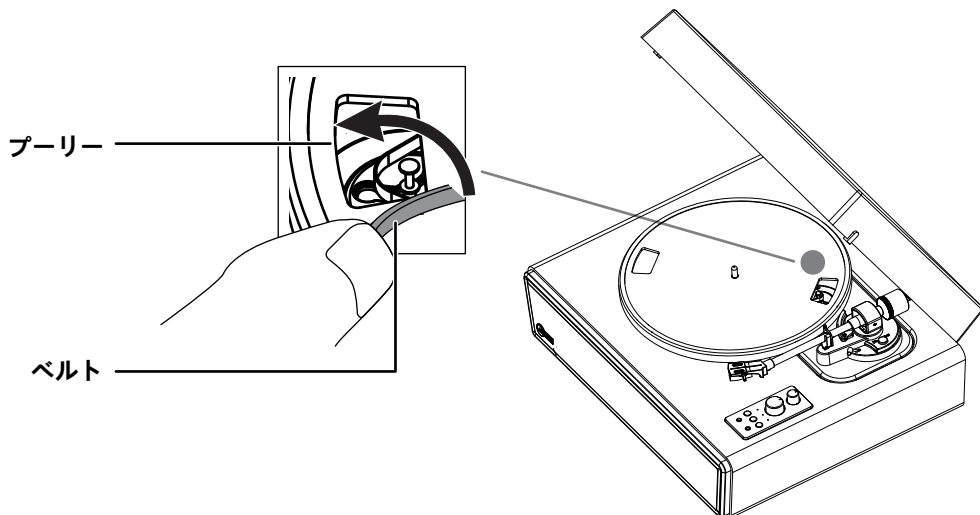


ベルトから赤いリボンを取り除きます。



2.ベルトを持ったまま、プッターを反転させ、ターンテーブルの中心にあるスピンドルに乗せてください。

3. プッターの丸い穴をプーリーに合わせ、指でベルトをプーリーにフックしてください。



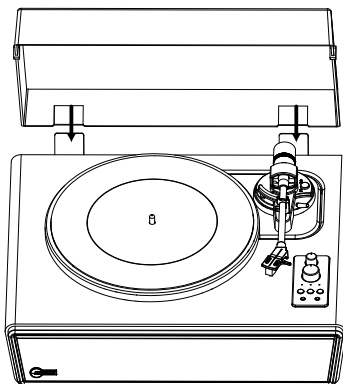
4. ターンテーブルマットをプッターに置いてください。

注意：プッターをターンテーブルから取り出したい場合は、まずマットを取り外し、プッターをつかんで上に引き出してください。特に発送時には、プッターが揺れるのを防止するために、この作業は非常に重要です。

JP

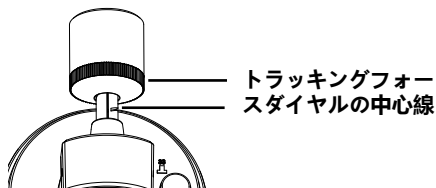
3.2 蓋の取り付け

蓋のヒンジポケットをターンテーブルのヒンジに差し込んでください。

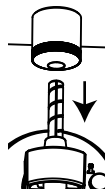


3.3 カートリッジトラッキングフォースの調整

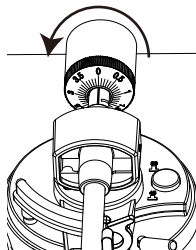
付属のカウンターウェイトは、3.0～6.0gの重さのカートリッジに適しています。



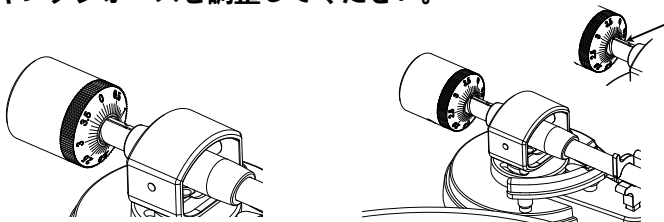
1. カウンターウェイトをトーンアームの後ろに優しく押し込み、回転させ、ダイヤルがターンテーブルの前を向いていることを確認してください。



2. ブラックナンバーリングでカウンターウェイトをつかみ、トーンアームの先端に優しく押し込んでください。



3. 最後に、カウンターウェイトとトラッキングフォースダイヤルを反時計回りに回転させ（前から見て）、カートリッジメーカーの推奨に従ってトラッキングフォースを調整してください。



JP

注意：スケール上の各マークは0.1gを表します。工場出荷時にインストールされたカートリッジの推奨トラッキングフォースは $3.5\text{g} \pm 0.5\text{g}$ です。トラッキングフォースダイヤルを慎重に回転させてください。トーンアームの上部の黒い線の上に「3.5」が中心になったら、停止してください。

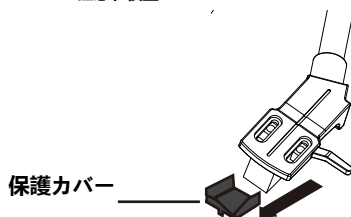
4. レコードの再生



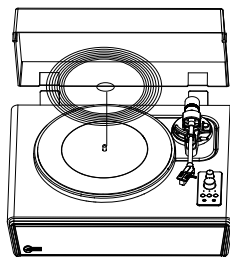
4.1 レコードを再生する前に

4.1.1 保護カバーを前方に引いて取り外します。

注意：過剰な下向きの力を加えると、針が本体から外れることがあります。針が外れた場合や緩んでいるように見える場合は、針を交換する手順に従って適切に再取り付けしてください。針が完全に取り付けられていない場合、低音量しか出力されない場合があります。



4.1.2 中心の穴がスピンドルに合うように、レコードをフェルトマットの上に置きます。



4.2. ターンテーブル操作

まず、アンプやスピーカーの音量を十分に下げてください。

4.2.1 付属の電源アダプターをレコードプレーヤーに接続し、電源ノブをオンにして、電話モードを選択してください。

4.2.2 針先の保護キャップを取り外してください。

4.2.3 レコードをスリップマットに置いてください。

4.2.4 レコードの種類に応じて33 RPMと45 RPMの速度を切り替えるには、スピードセレクトボタンを押します。

4.2.5 トーンアームクリップを解除し、トーンアームリフトレバーを上向きの位置に設定してください。

4.2.6 トーンアームをレコード上の所望の位置（溝）に合わせてください。

4.2.7 トーンアームをレコードに慎重に下ろしてください。

4.2.8 必要に応じて、ターンテーブルの音量を上げてください。

4.2.9 レコードが再生終了したら、ターンテーブルは自動的に停止し、トーンアームを持ち上げ、トーンアームレストに戻してください。

4.3 Bluetooth操作

4.3.1. 付属の電源アダプターをターンテーブルに接続し、電源ノブをBTモードにして電源を入れると、青色のインジケータライトが素早く点滅します。

4.3.2. メディアデバイスのBluetooth機能をオンにして、「Arkrocker Cassion」を検索して選択し、メディアデバイスとターンテーブルをペアリ

4.3.3. メディアデバイスがターンテーブルと正常にペアリングされると、ターンテーブルから短い確認音が再生されます。

4.3.4. メディアデバイスから音楽を再生してストリーミングし、ターンテーブルに送信します。インジケータライトが一定になります。

注意：Bluetoothバージョン：5.0

4.4 Bluetooth伝送操作

4.4.1. 付属の電源アダプターをレコードプレーヤーに接続してください。

4.4.2. レコードプレーヤーをオンにして、両方のデバイスの音量を最初は低く設定してください。

4.4.3. レコードプレーヤーのモード選択ダイヤルをPHONOに設定して再生します

4.4.4. ボタン  (ON) を長押しするとペアリングプロセスが開始され、操作インジケータライトが1回点滅すると接続が確立されたことを示します。

4.4.5. ターンテーブルから音楽をメディアデバイスに再生します。再生を終了する場合は、ボタンを再度長押し  して (OFF) 送信機能を無効にします。

4.5 AUX-IN操作

このターンテーブルには、MP3プレーヤー、CDプレーヤー、非ドッキングiPodなどの外部オーディオ機器を接続するための補助オーディオ信号入力ジャックが含まれており、外部ソースをターンテーブルのスピーカーから聴くことができます。

4.5.1. オーディオケーブルを使用し、両端に3.5mmステレオ接続が含まれているものを使用してください。

4.5.2. ターンテーブルのAUX-INジャックに一方を、オーディオ機器のLine Outジャックに他方を差し込みます。

4.5.3. ターンテーブルとオーディオ機器の電源をオンにします。ターンテーブルのインジケータライトが赤色になります。

4.5.4. 音量はレコードプレーヤーから制御できます。外部機器のすべての機能を通常どおり操作してください。

JP

注意：

1. トーンアームがしっかりロックされていることを確認して、損傷を防止してください。

2. 終了したら、ターンテーブルと外部機器の電源を切ることを忘れないでください。

5. 針の交換

針を取り外す

1. 針の前端を軽く引っ張ります。
2. 針を前に引き出してください。
3. 引き出して取り外します。

針の取り付け

1. 針の先を下に向けて配置してください
2. 針の裏側をカートリッジに合わせる
3. 針を前方に下向きに挿入し、前方の針をそっと持ち上げて、カチッと音がするまで挿入します

6. トラブルシューティング

潜在的な不正使用と故障状況

これらのレコードプレーヤーは最高の基準で製造され、工場を出る前に厳格な品質管理が行われます。発生する可能性のある不具合は、材料や製造上の不具合によるものである必要はありませんが、不適切な使用や不幸な事情が原因である場合があります。したがって、以下に一般的な故障症状のリストを示します

電源がありません

- 電源アダプターが正しく接続されていません
- 電源コンセントに電源が入っていません

電源がオンになっているが、プлатターが回転しない

- ターンテーブルのドライブベルトが取り付けられていないか、外れています
ターンテーブルは回転していますが、音が出ないか、音が十分に大きくないです。

- 針先プロテクターがまだ付いています
- トーンアームがレバーによって持ち上げられます

レコードの音が速すぎる、または遅すぎる

- レコードに選択された誤った速度
ベルトがモータープーリーに乗っていますか？
ベルトがモータープーリー（黄銅色）に正しく取り付けられているか確認してください。

正しく

ベルトが破損していませんか？
新しいベルトに交換してください
フォノ入力で強いハム音がする

- ケーブルの接地が正しくない
- ターンテーブルがスピーカーに近すぎる

7 技術仕様

モデル番号	PH78-DWT
Bluetoothバージョン	JL5.1
入力	AC 100-240V ~50/60Hz
電源供給	12V---2000mA
スピーカードライバー	4 INCH
スピーカー出力	2 X 15W
寸法	H202*W470*D367MM
重量	9.05kg
スタイラスモデル	AR-N60

電気および電子機器の消費者に対する廃棄物処理に関する情報



この製品及び/または付属書類にあるこのマークは、廃棄の際には廃棄電気電子機器（WEEE）として処理する必要があることを示しています

WEEEとマークされた廃棄物製品は一般家庭ごみと混合してはいけません。使用された材料の処理、回収、リサイクルのために、別々に保管する必要があります。

適切な処理、回収、リサイクルを確保するために、WEEEマークの付いたすべての廃棄物を地方自治体のごみ処理場に無料で受け取ってもらってください。電気・電子機器を適切に処理することで、消費者は貴重な資源を節約し、廃棄物が含む可能性のある有害物質による人間の健康や環境への潜在的な負の影響を防ぐことができます。

すべての消費者が廃棄された電気・電子機器を正しく処理することで、貴重な資源を節約し、廃棄物に含まれる有害物質による人間の健康や環境に潜在的な負の影響を防ぐことができます。

JP



1 YEAR WARRANTY

Scan to activate your warranty
and download the manual



www.ARKROCKET.com